

ND-6502-2007

フードル

高級食品機械用潤滑油

フードルは、植物由来の原材料を用いて作られた、安全性が高く、潤滑性および酸化安定性のきわめて優れた長寿命型食品機械専用潤滑油です。フードルは、食品が触れる箇所で使用できる食品機械用潤滑剤の米国NSF (National Sanitation Foundation) 3H に適合したものです。

●米国NSF 3HおよびH1登録品

食品機械は、原料加工から包装工程にいたるまであらゆる所に機械化の波が押し寄せてきています。これらの装置は、食品に対する安全性を考慮し、極力潤滑油を用いないシステムが望ましいといわれていますが、軸受寿命の延長や小形化・高荷重化等により無潤滑での運転が過酷になっているのが現実です。

そのため食品工場などからは、より安全性に優れ、かつ潤滑性、酸化安定性にも十分優れる長寿命型食品機械専用油が、強く待ち望まれました。

●フードルの特長

1.安全性が高い

芳香族分や硫黄分等の有害物質を含まず、高い安全性を有しています。

2.潤滑性に優れる

食品機械の潤滑油として優れた潤滑性を有しています。

3.安定性、耐久性が高い

植物由来の原材料で製造されていますが、安定性がきわめて高く、酸化劣化しにくくなっています。

4.無色、無臭、無けい光

高度精製により、色、臭い、けい光等は全くありません。

5.低温性能、高温特性が優れている

高粘度指数(128)と高引火点を有するため、低温から高温領域まで十分な潤滑性能を発揮します。

●フードルの安全性

フードルは植物由来の原材料から製造された基油を用い、食品添加物公定書に定める規格に合格する添加剤を添加して製造した商品で、人体に対する高い安全性を確保しています(ただし、フードルは食品機械用潤滑油であり、食品および食品添加物として販売しているものではありません)。

●フードルの代表性状

試験項目	フードル
色 (ASTM)	L0.5
密度 (15°C) g/cm ³	0.953
引火点 (COC) °C	242
酸価 mgKOH/g	0.21
動粘度(40°C) mm ² /s	13.18
動粘度(100°C) mm ² /s	3.35
粘度指数	128
流動点	-10
消防法危険物分類	動植物油類

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2016年1月)

●荷姿

ノズル付4lポリ缶、480mlスプレー缶×6



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

ノズル付4ポリ缶

成分：	潤滑油基油
GHS分類：	該当しない
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。・眼に入れないこと。飲み込まないこと。・取り扱い後はよく手を洗うこと。・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。

480m/スプレー缶

成分：	潤滑油基油、プロパン、ノルマルブタン、イソブタン
絵表示：	
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	極めて可燃性／引火性の高いエアゾール 高压容器：熱すると破裂のおそれ
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">・加圧容器：使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと。・熱／火花／裸火／高温のもの<のような着火源>から遠ざけること。－禁煙。・裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。・安全性の高い植物由来の原材料で製造されているが、食品ではないので、飲まないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、安静にすること。・異常がある場合は医師の診断を受けること。・誤って目に入った場合は、直ちに洗浄な水で十分に洗い流し、医師の診断を受けること。・誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・容器を密閉して換気の良いところで保管すること。・施錠して保管すること。・日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物/容器を各都道府県の規則に従って廃棄、または専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。